

基礎中国語		王 占華		
--------------	--	-------------	--	--

配当年次	1 年次	配当学期	1 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識		
	実践知識		
技能	分析解決技能		
	実務技能	◎	実用的な中国語の基礎を修得する。
	新規事業技能		
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度		
	国際協調態度		

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

基礎中国語

授業の概要

この授業は、中国語の発音、基礎文法、日常生活によく使用される実用会話文を身につけることを目標とする。先ず初習外国語としての中国語の基本である発音および基本文法を一部分ずつ詳しく解説した上、十分な練習を通じて身に付け、その上、実用会話が中心になっている場面で編成された本文について読解と音読の訓練を行う。また、日文中訳と中文日訳等の練習を通じて、両国語の特徴に対する理解を深める。2学期の「ビジネス中国語」を学習するため基礎を固める。なお、将来中国語検定試験などの就職に役立つ能力試験を受けるため、語学資格検定の試験問題も紹介し、練習する。

教科書

『比較中国語 [実用・基礎編]』 (王 占華 編 プリント配布)

参考書 (○は図書館蔵書)

- 『中国語コミュニケーションステップ24』 (胡金定 他著 白帝社)
- 『中国を歩こう』 (陳淑梅 他著 金星堂)
- 『中国語学概論』【改訂版】 (王占華 他著 駿河台出版社)
- 『就職に役立つ中国語』【改訂版】 (王占華 他著 駿河台出版社)

授業計画・内容

1. 中国語概説・単母音と声調
2. 子音と複母音
3. 鼻母音・音節と音便・教室用語
4. 発音の復習とまとめ
5. 「自己紹介」 (判断文・疑問文1・人称代名詞)
6. 復習と実用練習
7. 「空港で」 (授受表現・存在表現・疑問文2)
8. 復習と実用練習
9. 「両替」 (願望表現・数字・場所)
10. 復習と実用練習
11. 「道を尋ねる」 (方位表現・移動表現・禁止表現)
12. 復習と実用練習
13. 「乗り物に乗る」 (動作の進行・状態の持続・動作の実現)
14. 「宿泊」 (可能表現・時点・時量)
15. 復習と実用練習

[受講者の学習経験の有無と要望に応じて、テキストや授業内容又はスケジュールを調整することがある。その際にテキストの代わりにプリントを配布する。]

成績評価の方法

普段の練習50%、期末試験50%の割合で評価する。

事前・事後学習の内容	5回目の授業より、会話練習としての事前予習が必要となり、具体的な内容について、前の授業の最後に指示する。
履修上の注意	確認と復習として、文法規則としての重要性、文例としての実用性、使用頻度の角度から文字及び口頭による常用短文の作文、中→日、日→中双方向の訳などの練習を課する。コミュニケーションの基礎としての代表的な文例について、活用できるように要求するので、積極的な練習を望んでいる。
担当者からのメッセージ	世界経済のグローバル化に伴い、複数の外国語を身につければ、事業の展開に有利となる。中国語は外国語はあるが、同じ漢字システムの使用により、短い期間でも実務レベルの会話と読む能力を身につけられる。ぜひこの機会に挑戦してみよう。
キーワード	中国語の発音 中国語の基礎文法 中国語の実用会話 中国語能力試験 中国事情